

グループもみじ

法人理念



「ひとりの人を大切にした まごころ介護」

「ひとりの人の可能性を信じる まごころ介護」

私たちグループもみじは出会いから、最期まで

ご本人・ご家族のパートナーとして寄り添い続けます。

「必要なときに・必要なことを・必要なだけ」

もう一つの我が家として暮らしのお手伝いをいたします。



季節を感じ・日々を紡ぐ
宅老所での認知症ケア

第二回 季節で感じるもみじの宅老所

★ 宅老所ってみなさんご存知ですか？

「正直よく分からない。」「自分には関係ないや。」

いえいえ、そんな特別なことはありませんよ。

お年寄りもスタッフも、ご家族もご近所さんも、

みんなが自然に過ごす暮らしの場。

宅老所ワールドへいざ出発！

グループもみじ4つの宅老所

みんなのあもり



タヤけ小やけ



長野市&松本市

さくら



夢いちもんめ





4月

春の穏やかな風が
こころをやさしく包みます。
いい季節がめぐってきました。

みんなのあもり



宅老所の隣はお花見のベストスポット！
満開の桜の下でみなさん穏やかなひと時。

タヤけ小やけ



手先の器用な仲良しなお二人。おしゃべり
しながら貼り絵に熱中しています。

さくら



宅老所さくらのお花見定番スポット。辰巳公
園。おいしいお弁当も持参して楽しめます。

タヤけ小やけ



お誕生日のお祝いケーキにありがとうと
感激のうれし涙を見せて下さいました。

夢いちもんめ



庭木の手入れは任して頂戴よ。
お見事の剪定に、スタッフ一同感謝。

居場所は、心の安定に大切です

居場所の不安定さが、認知症の方の様々な問題をつくるきっかけになっていることがあります。その人が一番落着けて、安心できる場所を出るだけたくさんつくり、その場の空気の流れを大切に気持ちに伝えることです。誰からも、何処に居ても、あてにされない自分を感じたとき、人は心に寂しさを感じます。宅老所でお年寄りと接するとき職員が大切にしている事です。

山の緑が深くない、
太陽もぐんぐん強さを増します。
自然が元気を与えてくれますね。

5月



夕やけ小やけ



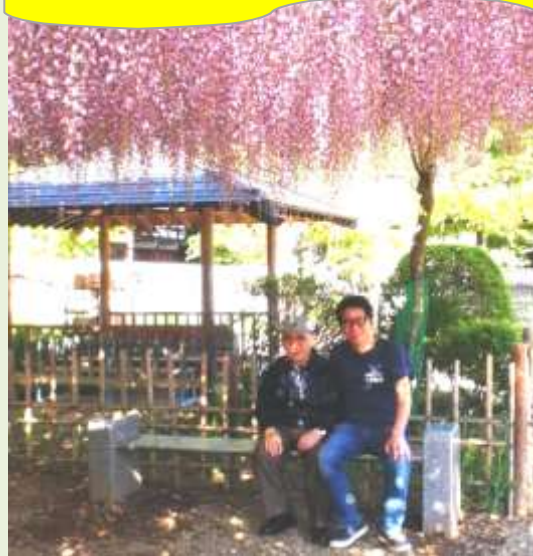
夕やけ小やけの皆さん。五月晴れの今日は藤の花を見学に来ました。
鮮やかで可憐な紫の藤の花の天井を眺めに笑顔がこぼれます。

夢いちもんめ



ご夫婦仲良くこどもの日に記念撮影。
新聞紙の兜が子供の頃を思い出します。

花をめぐるダンディツーショット。
なかなか渋いです。



さくら



茶の間で紙芝居。穏やかなひと時。



さくらガーデンでは、画伯が筆を走らせます。



6月

梅雨の時期こそ

じめじめ気分をすっきりとチェンジ
季節を愛でに出かけましょう。

さくら



初夏のさわやかな一日。ガーデンカフェさくらで
ティータイム。のんびりくつろげる地域の居場所です。

みんなのあもり



バラ満開の公園へお出かけ。濃厚な香りが園内
に広がります。バラのトンネルでパチリ。



夢いちもんめ



丁寧な介助で整備された園内を
車椅子でもす～いすいとお散歩です。

何もしない介護もあるという発想

認知症の方を色々な事が出来なくなった人
と見てしまうと、何もかもやってあげること
から物事が始まってしまいます。あたかも、
気の利いた良い介護をしていると勘違いを
生むことになりかねません。

まずは、何事にも頭を下げ礼をつくし一緒に
動きましょう。出来ることは一緒に励む、出
来ないことはこだわらないことです。

口出しすることは、相手を良く知っているか
のようですが、実は相手から見られている自
分“を意識出来ていません。見られている自
分が意識できてこそ、謙虚な姿勢と、常識の
解る人として相手から認められるのです。

お別れと心に浮かぶ日々の記憶



夕やけ小やけでは2017年春、K様・T様お二人が同じ日に旅立たれました。そばで支え続けてこられたご家族のお姿も、私たちに大切なことをいつも気づかせて頂きました。人生の最期を共に歩ませて頂いた事に職員一同感謝を申し上げます。介護職員がご家族へ宛てたお手紙をご紹介します。



お身体の調子が大変な事も沢山ありました。入院せずにぎりぎりのところまで頑張ってこられたTさん。本当にやさしく強い方でした。

Tさんと出会った頃のことを思い出すと、イキのいいおばあちゃんという印象が浮かびます。車から見える男性に向かって「あなた、私をいいところに連れてってちょうだい。」という姿。「私、あなたのことが好きよ。」と手をにぎって下さる姿。おやつやお昼ご飯が大好きで、いつもおいしそうに召し上がっていた姿。懐かしいTさんの姿を浮かべながら、天国へ行かれたお顔を見ました。ご家族も「本当に美人でおしゃれの好きな人でした」「夕やけ小やけで過ごせて母も幸せだった。」と話してくださいました。家での色々な葛藤も、懐かしむように話して下さったご家族の気持ちを改めて感じる時でもありました。Tさんが私たちに残してくれたことを忘れない。Tさんとの時間を、ご家族との時間を忘れてはいけません。Tさんの眠るように亡くなられている姿を感じています。



眠っているのかな？とおもいきや職員同士の会話にいいタイミングでお返事を返してくれるKさんの姿がリビングにいつもありました。

たくさん笑わせて下さったKさん。出会った頃からいつもいやしの存在でいてくれました。働きものでせつと手をいつも動かして、かと思えば急に寝てしまうKさんの愛らしさが好きでした。亡くなられた時、Kさんのすっとしたお顔に、また見た事のないお顔に感じました。ご家族とは訪問で何ようになり、以前よりもっと話をするようになりました。少しやせていた娘さんのお姿に少しでもお気持ちが汲みとれるようにと、訪問の時にはお話をしてお孫さんのことや猫のことをお話させて頂きました。「一週間ももたないと思っていたのに、母がここまで生きてくれて。本当にありがとうございます。」と仰っていただき、娘さんのお気持ちがとても伝わりました。Kさんの事を忘れず心の中で共に過ごさせて頂いた日々が生き続けていく事を大切にしていきたいです。

宅老所みんなのあもり 小規模多機能型居宅介護 (登録制25名まで)

＼個別のニーズに合わせた在宅支援の拠点／



〒380-0941
長野市安茂里葭ヶ淵 1861
TEL・FAX 026-226-0903



24時間、本人、ご家族の都合に合わせてご利用いただけます。食事や入浴の時間だけの利用、通院援助、訪問介護も組み合わせ自由です。暮らしに合わせたきめ細やかな対応を行います。お墓参りやお買い物など、あらゆるシーンでスタッフが充実サポートいたします。

宅老所さくら 認知症対応型通所介護 (通い中心に一日12名定員)

＼楽しく安心の居場所で過ごす／



〒380-0043
長野市吉田 5-13-7
TEL・FAX 026-244-7104



チームワークピッタリのさくらのスタッフが作り出す、安心と居心地の良さが魅力の宅老所。フットワーク軽くどこでもお出かけ。おひとりおひとりに合わせたおもてなしがキラリと光ります。ガーデンカフェ併設。地域交流の拠点です。

★ 職員の手記より～もみじの理念と私

一方的な関係なのではなく双方向に「一人の人」でありたい

見原照弘 （タヤけ小やけ 介護師）

私がいつも考えているのは二つの理念に繰り返し出てくる「一人の人」というところです。「一人の人」タヤけ小やけでも多くの方が毎日通われたり、泊まったりしておられますが、ともすれば「大勢の人」対「大勢の人」や「大勢の人」対「一人の介護者」になってしまうことがあります。私が心がけているのは、ここでの仕事が介護者一被介護者という単純な関係ではないことはもちろん「私にとってあなたはかけがえのない『一人の人』なのですよ」ということであり、それは一方的な関係なのではなく双方向に「一人の人」でありたい、お互いに伝えあい受け止めあうことができるということです。私が発する言葉、行動、表情などはすべてメッセージであって少しもおろそかにしてはいけなし、放たれた相手のメッセージはちゃんとキャッチしなくてははいけない。そんなことを考えながら日々の仕事に取り組んでいます。



ピンクのアフロヘアーの下にはなんと地毛も黒髪アフロ。やさしく、楽しく、面白くの姿勢でお年寄りの笑顔と元気を引き出します。(右：見原スタッフ)

ありがとう、感謝していますとの言葉を送りたい

立岡正予 （宅老所さくら 介護職員）

先日長谷川さんが「今の若い者はありがとうといわないね。私は小さい時から親に何をやってもありがとうと言わなくてはいけない。どんな小さな事でも私はすぐにありがとうと言っているよ」と言われました。また入浴介助をする時「感謝しています」とか「いつもお世話になって申し訳ない」といわれます。私はそう言ってくれるお年寄りたちに私が介護されています。一人の人を大切にという理念はお年寄りだけでなく自分への問いかけだと思っています。毎日毎日の私への言葉だと思っています。そういうお年寄りを私は守っていかなくてはと思います。心の底からありがとう、感謝していますとの言葉を私は送りたい。それが私のまごころ介護だと思っています。



自然な声掛けとさり気ない気遣いで心のこもったおつきあい。(右：立岡スタッフ)

タヤけ小やけ 小規模多機能ホーム (登録制25名まで)

＼役割が生きがいを生むあったか空間／



〒390-0825
松本市並柳 1-3-18
TEL・FAX 0263-87-2760



出会いから最期まで。やさしく寄り添うパートナーとして、お年寄りとご家族を支えます。広々としたリビング、風が通るウッドデッキ、季節の旬を味わう手作りの食事。やさしさと笑顔が明るくあなたを迎えます。ふらりと立ち寄れるタヤけ小やけカフェも併設して、ご近所さんも顔馴染み。

宅幼老所夢いちもんめ 認知症対応型通所介護 (通い中心に一日8名定員)

＼愛犬ムクもお出迎え笑顔と夢がいっぱい／



〒390-0828
松本市庄内 1-7-17
TEL・FAX 0263-26-1680



子供とお年寄りが共に過ごせるどこか懐かしく家族のような温かい雰囲気。毎日のスケジュールはありません。その日その時、やりたいことをやりましょう！料理でも、畑仕事でも、季節を感じるドライブでも。1歳と100歳のコミュニケーションが繰り広げられる夢いっぱいの空間です。

も ひ と 爺 の こ と



人はみな明日のために今日を精いっぱい生きている。歳を重ねるにしたがって心の奥を支配してくるのは「どう死ねるか」「どこで死ねるか」の不安だろう。しかし、私と関わるお年寄りたちはその不安を口にすることはなく悠々と過去のよき時代を生きています。そして、ある時すーと永遠の眠りにつく。つい先ほどまでの暮らしの中で…。

認知症になりながらも、自らの生きざまをいさぎよく受け入れ、自分なりに認知症の人生を生き切って終わっていく。この人生を不幸と言えるだろうか。私はこれも人生の終わり方として幸せと思う。

昔ながらの遊びを楽しもうの会



スミさん得意の輪投げで勝負！

「お手玉なんて久しぶり。
出来るかしら うふふ。」



「昔やった事あるよ！

あんまりうまくないけどね〜。」



たくろうしょ 宅老所 正社員・パート同時募集 で働こう

勤務地/時間応相談

未経験でも丁寧に指導します♪

小さなお子さんと一緒に勤務可能

20代～60代男女活躍中！

メディアも注目！宅老所の「認知症ケア」

ひとりひとりにじっくり寄り添う 自然な暮らしの居場所
宅老所でおしごとはじめませんか。

看護職員／介護職員／生活支援員

自分に合った働き方を見つけよう！

職員募集詳細はHPをご覧ください

認知症の方への接し方がわからない…

お年寄りを地域で支えるためには何が必要？

自宅で最期を迎えることは可能？

あなたの不安やお悩みに答えます！

認知症ケアや人権についての講演依頼及び宅老所での研修を受け付けております。ご活用ください。



南牧村認知症地域講演会にて

介護でお困りの事などお気軽にお問い合わせください。見学も受け付けております。

宅老所みんなのあもり

026-226-0903

宅老所さくら

026-244-7104

タヤけ小やけ

0263-87-2760

宅幼老所夢いちもんめ

0263-26-1680

NPO法人グループもみじ 〒380-0941 長野県長野市葎ヶ淵 1861

電話 026-227-4425

FAX 026-217-7764

ホームページ

グループもみじ

検索

※ご家族の許可を頂き写真を掲載しております。

※ホームページではもみじ会誌バックナンバーがご覧頂けます。

